



地域との連携による国際交流の推進

国際戦略センター

松永 光代

准教授

MATSUNAGA Mitsuyo

修士(文学)(奈良女子大学)

■研究キーワード

フランス文学 / 日本語教育 / 留学生教育

■主な所属学会

日本フランス語フランス文学会 / 日本比較文学会 / 日本語教育学会 / 留学生教育学会

■研究者総覧

<https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.61cd5ef1e7b3662e520e17560c007669.html>



Nara Women's University



研究者総覧

研究概要

大学間にとどまらない、地域との連携による国際交流事業を展開し、その成果分析を行っています。国内学生と留学生が、奈良県内の自治体等とともに、多言語の新しい観光コンテンツを作成する取組みや、奈良県内の企業が抱える課題に対して、留学生の目線から提案を行うプロジェクト等のほか、地域住民の方に国際交流の機会を提供する取組みも行っています。また、海外短期研修にて、日本や奈良をアピールするプログラムも実施しています。

個人の研究としては、20世紀フランス文学(ジャン・コクトー)が専門です。「夭折と鎮魂」を大きなテーマとしており、堀辰雄の初期作品におけるコクトー受容についても研究を行っています。



(上) 日本語、英語、中国語、ベトナム語によるパンフレット

(左上)高取町にて行ったコンテンツ発表会の様子
町長のほか、地域住民も多数参加した

(左下)プロジェクトに参加した学生たち

お問い合わせ：奈良女子大学社会連携センター

Tel:0742-20-3734

Mail:liaison@cc.nara-wu.ac.jp

アピールポイント

国際戦略センターでは、国際交流と地域活性化の循環により「国際キャンパス奈良」を形成することを目指して活動しています。奈良女子大学の学生だけでなく、地域住民や自治体、企業など、さまざまなステークホルダーの国際化に資する取組みを今後も展開していく予定です。

海外での取組みとしては、海外短期研修にて日本や奈良のアピールを行っています。過去には、インバウンド観光客向けのパッケージプランを考えている奈良市内の貸衣装店からお借りした色打掛をニュージーランドに持ち込み、日本文化イベントにて現地の方に試着してもらったほか、どのような色柄が好まれるのか、来場者への調査なども行いました。



(左) 色打掛の試着を楽しむ来場者

(下) 色打掛の色柄人気調査の結果



更新日：2025年11月21日